

令和8年9月11日

鳥取大学「メキシコ海外実践教育プログラム」が20周年 メキシコ現地にてパートナー2機関と合同記念式典を開催 ～20年間で233名の学生を派遣、さらなる共修・教育連携の強化へ～

鳥取大学（鳥取県鳥取市、学長：原田 省）は、2006年度に開始した全学共通のグローバル人材育成プログラム「メキシコ海外実践教育プログラム」が20周年を迎えたことを記念し、2026年9月14日（月・現地時間）にメキシコ合衆国南バハ・カリフォルニア州ラパス市にて、共同実施機関であるメキシコ北西部生物学研究センター（CIBNOR）および南バハカリフォルニア自治大学（UABCS）と合同で「20周年記念式典」を開催いたします。

報道機関のみなさまにおかれましては、本学独自の国際教育の取組みについて、ぜひご紹介を賜りますようお願い申し上げます。

【「メキシコ海外実践教育プログラム」の歩みとこれまでの成果】

本プログラムは、鳥取大学の強みである乾燥地研究などの学術交流（1980年代より開始）を礎に、CIBNOR（1998年協定締結）およびUABCS（1996年協定締結）との強固な信頼関係のもと、2006年より全学共通プログラムとしてスタートしました。

- 20年間で233名の学生を派遣： これまでに計233名の学生をメキシコ・ラパスに派遣しました。学生たちは約6週間にわたり、現地の豊かな自然、社会、文化を実際に体験し、異なる背景を持つ人々と協働して課題解決に挑む実社会での学びを経験しています。



（プログラムの様子）

- グローバルに活躍する人材の輩出： プログラム参加者の中から、文部科学省主導の「トビタテ！留学 JAPAN」合格者を5名輩出しました。
- 双方向の教育・学術ネットワーク： 本プログラムでパートナー学生を務めたことを契機に、鳥取大学への交換留学に進んだメキシコ人学生は10名にのぼります。さらに、鳥取大学で学位を取得（予定含む）した両機関の学生も4名誕生しており、双方向の活発な知の循環が生まれています。

【20 周年式典の概要】

- ・開 催 日：2026年9月14日（月）午前11時～（現地時間）
- ・場 所：メキシコ・ラパス市・南バハカルフォルニア自治大学
- ・共同開催機関：鳥取大学、メキシコ北西部生物学研究センター（CIBNOR）、
南バハカリフォルニア自治大学（UABCS）
- ・主な出席者：
南バハカルフォルニア自治大学学長 Dr. Dante Arturo Salgado González、ほか
メキシコ北西部生物学研究センター所長 Dr. Alfredo Ortega Rubio、ほか
鳥取大学理事（教育担当）・副学長 坂口 裕樹、ほか
- ・参 列 者：現地大学関係者・来賓ほか

【主な内容（予定）】

- ・各機関代表による挨拶（鳥取大学からは坂口理事が登壇）
- ・記念品交換、20年の歩みを振り返る記念ビデオの放映
- ・これまでの協力への謝意表明と、今後のパートナーシップの発展に向けた意見交換

【今後の展望】より対等な「共修」の場へ

今後は、メキシコ側の学生にとってもより対等に学び合える「共修（フィールドワークやプレゼンテーションの協働など）」の場となるようプログラムの改訂を進め、両国のさらなる友好と、グローバル社会を生き抜く実践的リーダーの育成に貢献してまいります。

【情報発信】

本プログラムの概要や活動の様子は、以下の媒体にて発信しています。
式典終了後にも、再度情報提供を予定しております。

- ・鳥取大学国際交流・留学情報 Web サイト
<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/practical-overseas-education-program-in-mexico>
- ・公式インスタグラム（鳥取大学国際交流情報）
https://www.instagram.com/tottori_uni.kokusai/

【本件に関する問い合わせ先】

鳥取大学 学生部
国際交流課 国際交流係
電話：0857-31-5010
Mail: kokuko-koku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

【本件の取材申込について】

鳥取大学 広報・基金室
（ブランディング推進室 広報企画係）
電話：0857-31-5006 FAX：0857-31-5018
Mail: toridai-kouhou@ml.adm.tottori-u.ac.jp